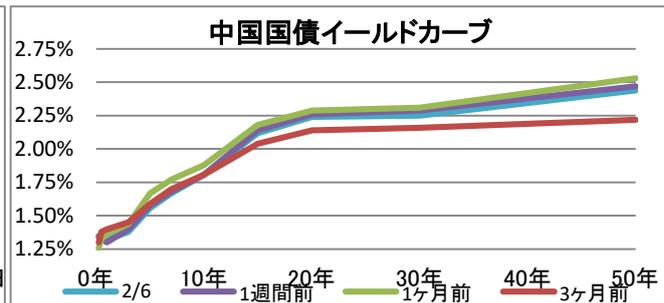
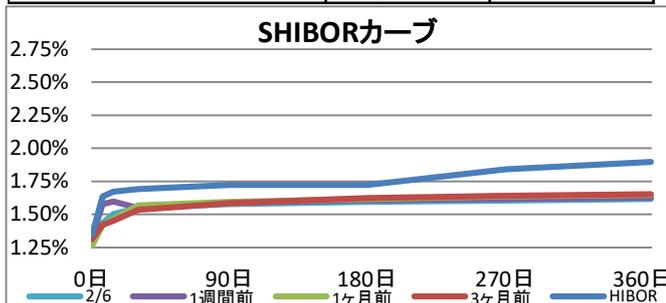


1. 市場概況

基準レート		2026/2/6	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.9590	-0.0088
	JPY/CNY	4.4367	-0.1097
SHIBOR	3M	1.5800%	-0.0090%
国債利回り	10年	1.81%	+0.00%
上海総合指数		4,065.58	-52.37



(1) 概況

国際金融市場は、アンソロピックショックとハイテク企業の巨額設備投資に対する懸念の高まりや米イラン協議等の地政学リスク、PMIの改善や米雇用指標の悪化等を材料に乱高下する展開となったが、債券利回りが低下し、過度な懸念が後退する格好で米ダウ平均が初めて5万ドルを突破し、金も反発し、ビットコインは6万ドルまで急落後に下げ幅を若干縮小する展開。

中国金融市場では、世界的に不安定な株式市場と金銀相場に加えて春節連休を控えたポジション調整もあって、株式市場は軟調に推移し、債券市場では材料難から利回り低下余地の残る中期ゾーンに買いが入る調整相場で小幅な値動きとなり、外為市場では、ドル安と季節要因による元高圧力が徐々に弱まり1ドル=6.94を挟んだ取引に終始した。

中国では、習主席が米中首脳電話会談で、米中関係を安定的に前進させたいとした上で、台湾問題を最重要課題として武器売却を慎重に扱うよう要請し、李強総理は、国务院全体会議で全国人民代表大会で審議される政府工作報告と第15次5カ年計画案について討議し、5カ年計画の初年度を良好にスタートさせる必要性とマクロ政策や財政政策の前倒し実施、5カ年計画と年度業務の連携強化、新質生産力発展や国内大循環を強化し、国民所得の増加を促進するとし、地方政府関係者との会合では、地方の次期5カ年計画策定は、過度に大規模・網羅的とせず、精選した質の高い計画とすることの重要性を強調。財政部は、昨年の歳入の不動産不況と内需低迷による5年ぶりの減少を公表し、商務部は、商品消費からサービス消費主体へ構造転換や、サービス消費の新成長分野育成支援方針を示し、対外面では外商投資促進体制改革や制度型開放の拡大によりビジネス環境を改善し、外資による新たな投資トレンド形成意向を示した。金融監督管理総局は、改正銀行保険機関許可証管理法を發布し、中国人民銀行は、金保有を15カ月連続で増加させ、構造的金融政策ツール充実化、財政政策との連携強化、科学技術、グリーン、包摂、年金、デジタル、消費分野への金融支援強化方針を示し、国家発展改革委員会等と共同で仮想通貨関連リスクの防止措置通知を发出し、仮想通貨規制強化と当局認可のない人民元ステーブルコイン発行を禁止、証監会・呉主席は、次期5カ年計画期間中、科学技術イノベーションボード改革方針を示し、同会は、戦略的投資家に全国社会保障基金等の公的基金のほか、公募ファンドや銀行理財商品等も含めるパブコメを公表し、国内資産の国外における資産担保トークン化証券の発行に対する監督管理ガイドラインを公表。この間、特別国債を発行して大手保険会社に資本注入を行う計画に関する報道があった。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日17,615億元、アウトライトリバースオペ期日7,000億元に対して、リバースオペ10,055億元(7日物:4,055億元、14日物:6,000億元)、アウトライトリバースオペ8,000億元を実施し、6,560億元を吸収。また、来週10日の中央国庫現金管理商業銀行定期預金(3月10日期日)1,500億元の入札を発表。

(3) 主な経済指標

・RatingDogのPMI(1月)は、製造業が50.3(12月、50.1)と2カ月連続で50を上回り、サービス業は52.3(同、52.0)と5カ月振りに伸びを高め、総合も51.6(同、51.3)と8カ月連続で50を上回り若干上昇。製造業では、年初の輸出受注増や新製品投入効果から新規受注と生産が増加し、景況感が9カ月来の低水準に低下したものの雇用は3カ月振りに増加に転じ、サービス業も、輸出受注の回復に伴う受注増が全体を押し上げ、景況感は低下したものの雇用は6カ月ぶりに増加に転じた。

2. 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.2770%	1.5500%	1.3723%	
1W	1.4350%	1.4900%	1.5140%	1.4900%
2W	1.5040%	1.4900%	1.6179%	1.5000%
1M	1.5500%	1.6500%	1.6210%	1.5500%
3M	1.5800%	1.6000%	1.6400%	1.5800%
6M	1.5970%	1.7500%	1.6500%	1.5900%
9M	1.6058%			1.5900%
12M	1.6169%	1.9000%		1.5900%

中国人民銀行が、月初の資金吸収と春節連休越えの資金供給を丁寧に進めていることから、市場心理は安定を維持して、調達を急ぐ動きは見られず、月中の短期の1.5%台での取引が中心で、ターム物の出合いは限定的。ターム物は1カ月が1.6%台で出合っている。

NCD市場の金利水準も安定した状況が続いており、ターム物の金利水準は、春節越えとなる1カ月が1.5%台半ば、四半期末越えとなる3カ月以降の期間は1.5%台後半で若干低下して取引されている。

(2) 米ドル資金(本土内)

	BID	OFFER
ON	3.64%	3.65%
1W	3.66%	3.67%
1M	3.68%	3.72%
3M	3.70%	3.75%
6M	3.65%	3.75%
12M	3.60%	3.75%

中国国内市場では、春節を前に資金需給がタイトとなっており、ターム物は1カ月中心で、3.6%台後半で出合っている。

3.人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.34%		1.58%	1.63%	1.70%
6M	1.33%		1.59%	1.65%	1.74%
1Y	1.32%	1.34%	1.63%	1.71%	1.81%
3Y	1.38%	1.47%	1.78%	1.83%	2.03%
5Y	1.56%	1.66%	1.81%	1.95%	2.28%
10Y	1.81%	2.01%	2.23%	2.33%	2.81%

米国債券市場は、PMIの改善で下落（利回り上昇）して始まったが、軟調なハイテク株や雇用指標により短期債中心に買い戻され、株式市場の回復や翌週の雇用統計を意識した調整から上げ（利回り低下）幅を縮小する展開。

中国債券市場では、中東情勢に加え、米中首脳電話会談で台湾が最重要課題とされる等地政学リスクが高まる中、春節やその後の全人代を控えて資金需給の改善と株安から底堅い調整相場となった。イールドカーブは、連休を前に短期債の利回り低下余地が限定的であることもあって中期利率債中心に買いが入る調整相場となり、総じて小幅なフラットニングの動きとなり、クレジットスプレッドは短期での縮小が続く一方、中期では拡大が続いている。

この結果、10年米国国債利回りは4.21%（前週末比-3bp）へと低下に転じ、10年中国国債利回りは1.81%（同±0bp）と横ばいとなったことから、利回り差は240bp（同-3bp）へと縮小に転じている。

4.先物為替市場

	USD / CNY
1M	-112.7 / -112.3
3M	-349.0 / -348.0
6M	-677.0 / -675.5
9M	-977.0 / -975.0
12M	-1,227.0 / -1,273.0

対ドル基準レートは6.9590と前週末比-88pipsのドル安元高、対円基準レートは4.4367と同+1097pipsの円安元高と、対ドル基準レートは市場実勢対比元安水準ながら3週連続で1ドル7元割れ水準で元高推移となったことから、元高容認姿勢と受け止められているものの、急激な元高に対しては実勢比元安幅を拡大させる等の警戒的対応を続けている。

中国国内市場では、1ドル=6.95近辺で始まり、ドル安と春節休暇前の季節的なドル売り元買いにより6.93台まで元高が進んだものの、大手銀行のドル買いや基準レートの元安幅拡大等の対応により元高圧力は徐々に和らぎ、6.94元を挟んだ狭いレンジでの取引で週末を迎えた。

先物は、春節を控えて直物が小幅なドル安元高となる中、春節を前にドルの資金需給がややタイトとなり、金利も高め推移となっていることもあって、1年物では一時-1,300台までディスカウント幅が拡大していたものの、その後は-1,200台後半まで低下幅を縮小。

5.金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.56%		1.40%
6M	1.53%	1.59%	1.40%
9M	1.51%	1.58%	1.40%
1Y	1.50%	1.57%	1.40%
3Y	1.54%	1.62%	1.40%
5Y	1.62%	1.70%	
7Y	1.68%	1.76%	
10Y	1.75%	1.84%	

金利スワップ市場は、材料難の中で短期の指標レートと債券利回りの低下により小幅低下。スワップスプレッドも概ね変化なし。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。